

第2回eモニターアンケート 「今後の公共施設のあり方について」

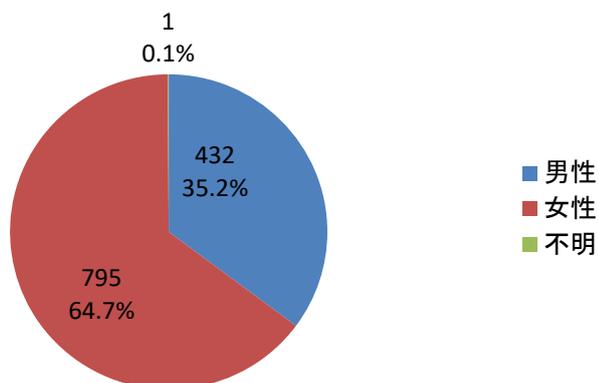
実施期間
回答数

令和3年6月29日 ~
1228 人

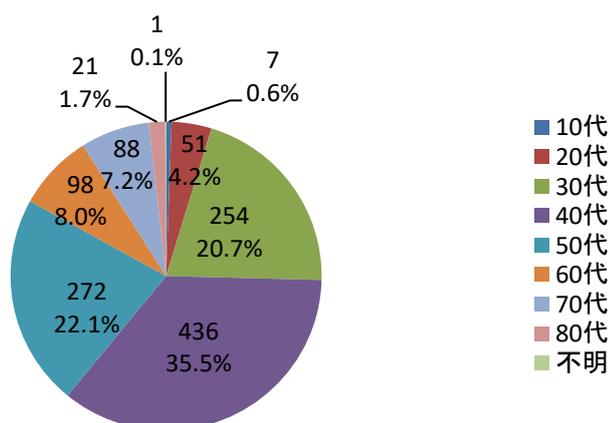
令和3年7月6日

※単位は全て、円グラフは人（割合）、棒グラフは人

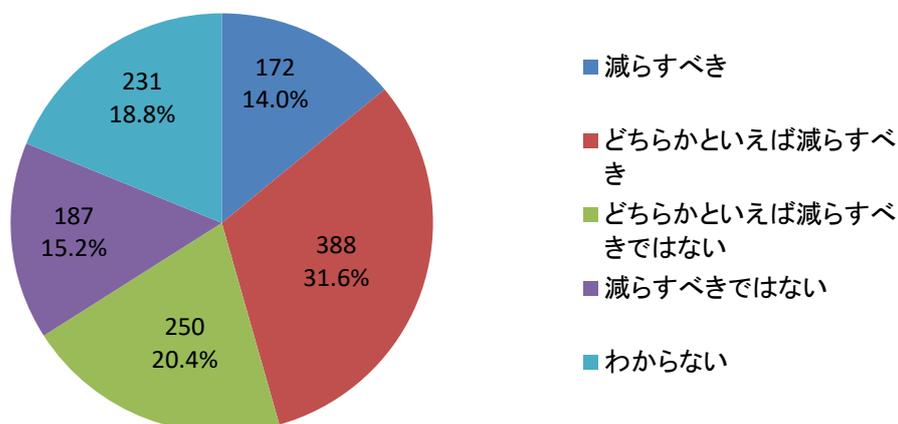
性別



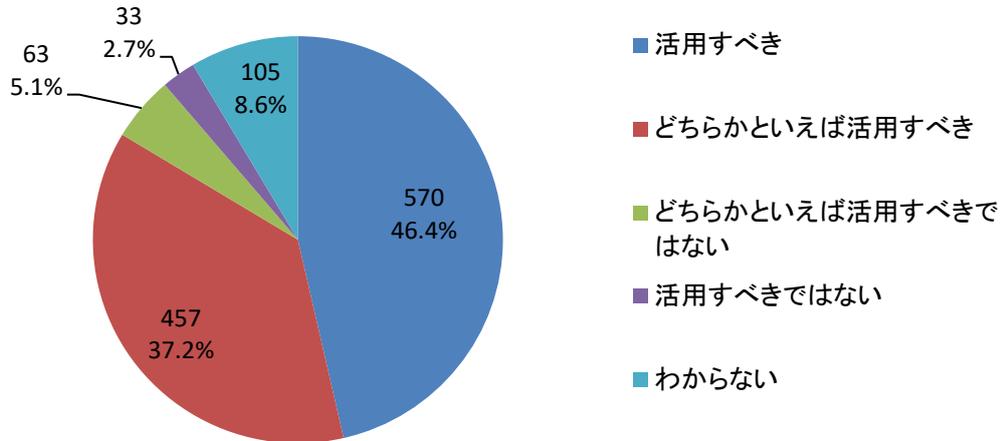
世代別



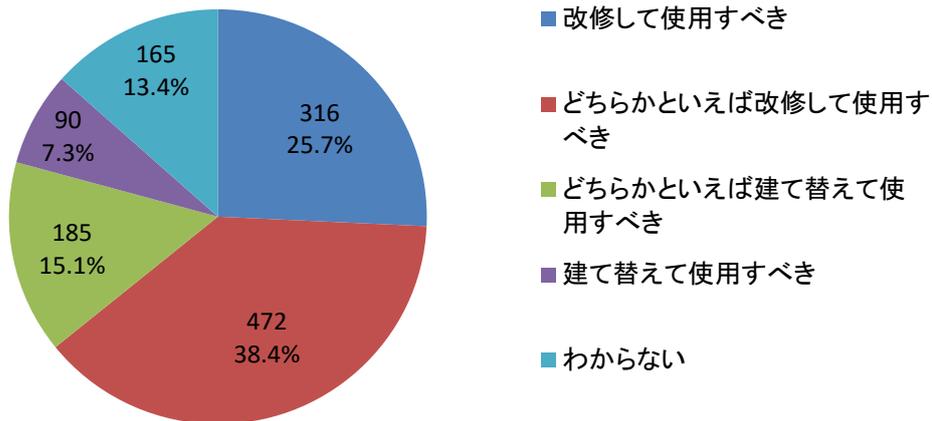
問1: 公共施設を統廃合して施設数を減らすべきか



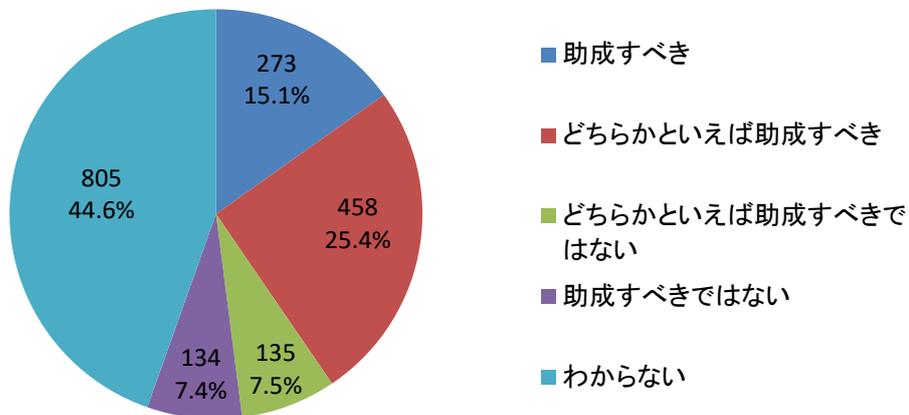
問2: 公共施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用すべきか



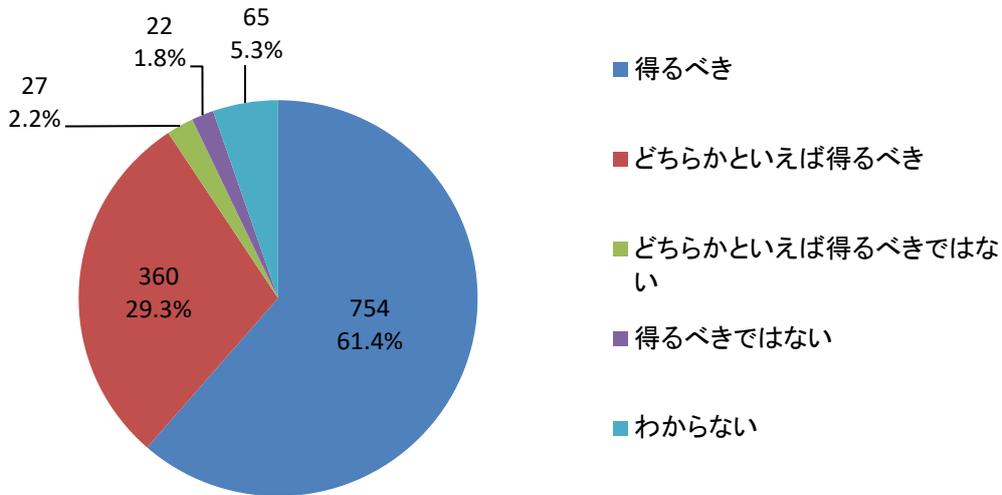
問3: 公共施設が老朽化した場合、改修等で長く利用すべきか



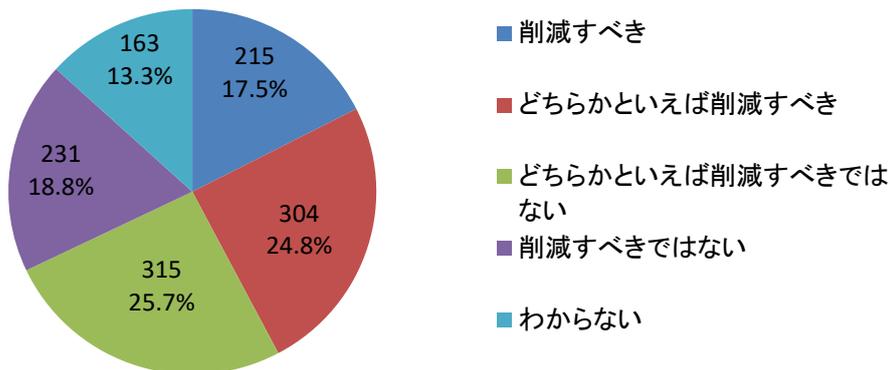
問4: 公共施設を減らして民間施設を使用するようにし、使用料を助成すべきか



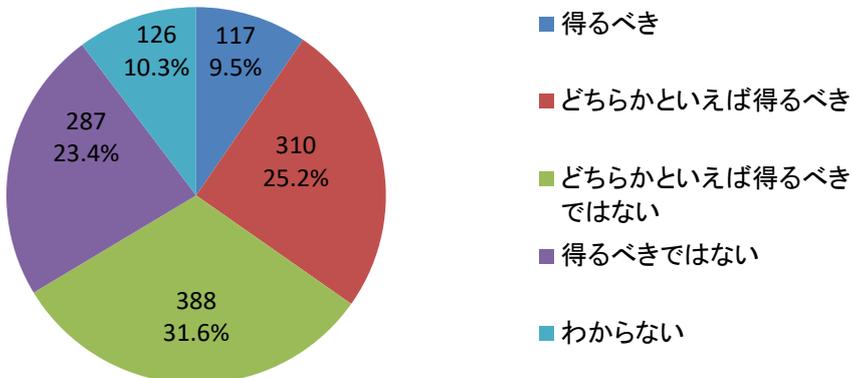
問5: 利用しなくなった市の施設や土地が発生した場合
 売却や賃貸して収入を得るべきか



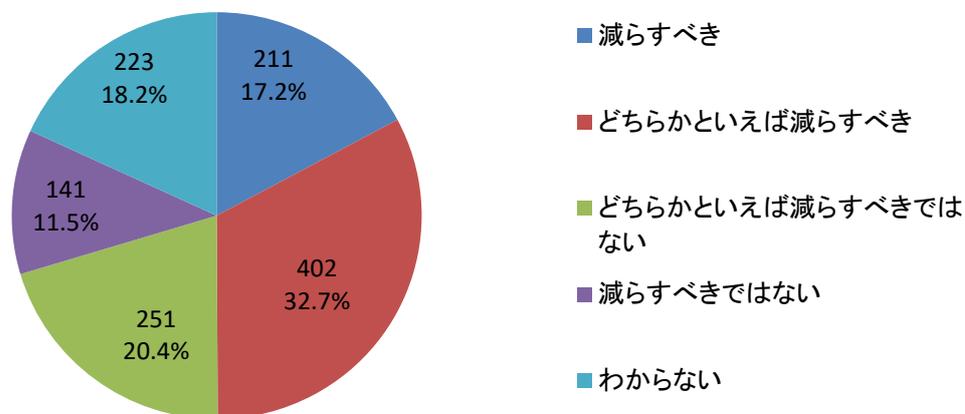
問6: 運営費や運営時間など、サービスの水準を引
 き下げ、コストを削減するべきか



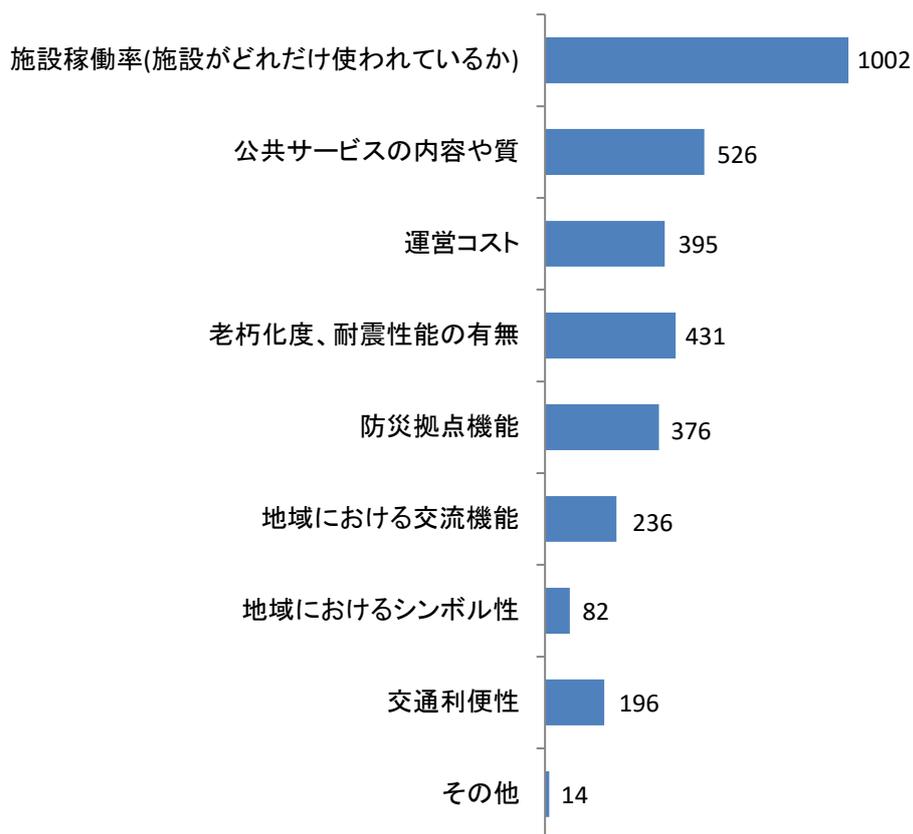
問7: 公共施設の使用料などを引き上げて収入を得
 るべきか



問8: 他市住民も利用する施設は他市と共同で建築・運営し、双方の施設数を減らすべきか



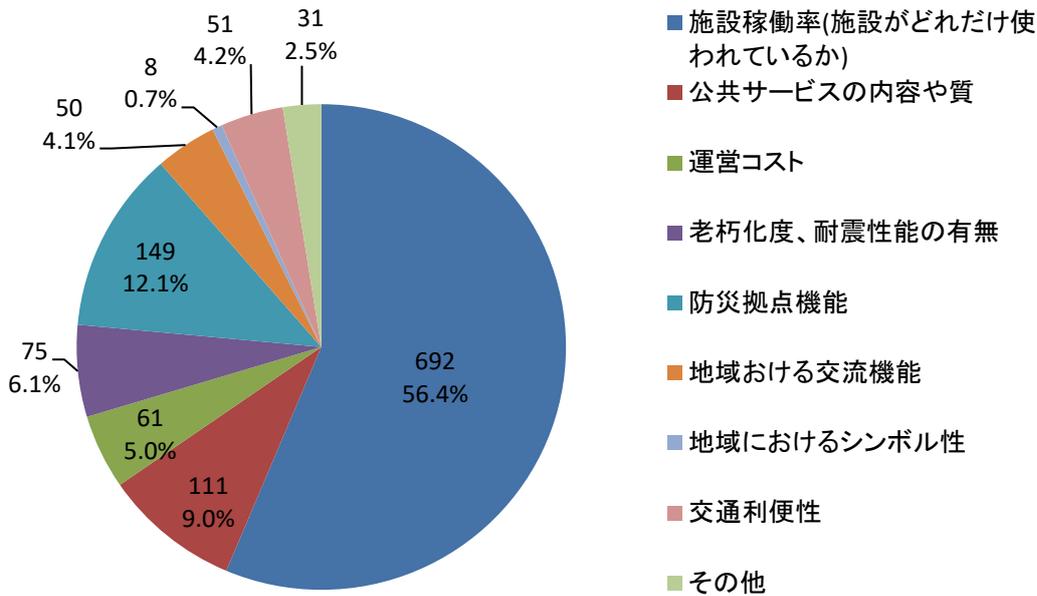
問9: 公共施設を残す基準(3つまで)



【主なその他意見】

- ・その地域の住民の利便性を考え運営すべきだと思う
- ・教育に役立つかどうか
- ・歴史的に価値があるかどうか
- ・稼働率が低く、コストかかっていたとしても重要で必要な施設ならば残すべき。
- ・市の目指す住民自治に資する内容、品質を有しているか(ソフト面も含み)で判断すべき

問10: 公共施設を残す基準で最も重要な要素



《主な理由》

【施設稼働率】

- ・サービスの質、費用、利便性などをトータルに反映してと思われるから
- ・せっかくあるものを活用できているか
- ・たくさんの人が使うことが必要性の基準だと思うから
- ・どれだけ使われているかというよりも、どれだけ広い人に使われているかが重要
- ・稼働率が高い分利用者が多く、交流拠点になっていると言えるし、身近に感じる人も多く災害時の避難所等としても身近に感じてもらいやすい
- ・稼働率が高ければ収益も上がるはず。
- ・市民が使ってこそその公共施設
- ・費用対効果が大事

【公共サービスの内容や質】

- ・サービスや質が落ちると使用しなくなる可能性がある
- ・サービス内容が特殊であったり特別であれば専門の民間企業に委託してもいい
- ・サービス内容によって、利用する人数が変わってくるから
- ・公共のサービスでなければできないことや、なくなると困るサービスは最優先で残しておくべき
- ・市民のニーズにあった税金の使用
- ・稼働率を重視すると、よく使用する一部の人のための施設が残されてしまう。多くの市民にとって必要な存在であるかは大事
- ・誰でも利用できるのが良い
- ・品質がよければ効率よく活用されるし、市民の利益になるから。

【運営コスト】

- ・コストがかかり過ぎている場所をなくするのが1番早い
- ・コストを抑えて運営して行った方が長続きする
- ・サービス以上の負担にならない
- ・維持管理運営などをNPO等にも頼りすぎているか
- ・維持管理費の大きな運動系の施設が多すぎるのでは
- ・人件費や光熱費など
- ・固定費は削減すべき
- ・費用対効果をしっかり検討するべき
- ・民間に任せられる施設を考慮する

【老朽化度、耐震性能の有無】

- ・あまりにも老朽化のものは稼働率も悪そう
- ・きれいな施設を使いたい
- ・バリアフリーなど利用者に合わせた施設にするべき
- ・メンテナンスのコストがかかりすぎるのは好ましくない
- ・もしもの時に機能しないのはよくないと思う
- ・災害等も想定し、安心安全が最優先だと思うから
- ・人の命に関わる事もあるから

【防災拠点機能】

- ・避難所がないと困る、いざというときにも市民が安全に生活するため
- ・公共でしかできない、民間代替しにくい
- ・コロナ禍による災害時の密を避けるため
- ・各地区に必要な拠点なので安心して利用出来る距離に配置してほしい。
- ・共助の拠点となるよう
- ・減らすにしても偏った地域にならないように
- ・災害時には誰でも知ってる所という事が大事だから
- ・自ずと地域全体に行き渡ると思うから
- ・震災を体験した時、公共施設の存在がとても大事だと思ったから。
- ・命に関わることだから

【地域おける交流機能】

- ・ある特定の団体(組織)による稼働率よりも、世代や職業を超えた関係での交流ができる機会の増が望ましいため
- ・公共施設なので、市民の交流等に使用されるべきと思うから
- ・子育て世代、シニア世代、他にサポートが必要な人達が使用できると、孤立しない
- ・稼働率やコストなどで選別すると住んでいる地域によって市のサービスの格差が生じるから
- ・市民の大事な活動拠点は守るべき
- ・住民の交流が活発になりば、その地域の活性につながる。
- ・色々なSOSを気軽に出来る気がします。
- ・民間にはなかなかできないから

【交通利便性】

- ・あんくるバスが乗り継ぎ無しで行ける、バス停が近いと良い
- ・バス、電車等の公共交通機関でも行きやすい方が良い
- ・安城は自動車の保有率が高いと思うが、お年寄りの方達の利用を考え、交通利便性は大事
- ・駐車場がたくさんあると良い
- ・障がい者や高齢者が公共交通機関を使って行ける
- ・便利でないと稼働率が上がらない。

問11：公共施設のあり方について、自由に意見をご記入ください。
本当に必要な施設か見極めるのは難しいが、稼働率やコストと併せて考えていくべき。
民間の施設とのすみわけが大切だと思います。
市民が安心安全に利用できる事が大切だと思います。
公共施設をあまり活用していないので、これといった意見は有りませんが、施設の状態を常にウォッチして、活用状況が悪いようであれば、原因分析をしっかりと行い改善して、公共施設が充分活用されるような対策を講じて頂きたい。いずれにしても投資が必要になると思いますので、運営コストが高い施設等は、減らすことも視野に入れる必要が有ると思います。
公共施設は防災に必要不可欠。老朽化した場合は同じ地区に避難場所が必要なので、平等に安城市を網羅して施設運営して欲しいです。 安城市は重なってる地区も多いので、そういう所は合併もしくは違う場所に移すとかして減らす事も出来ると思う
今、使用されていない時間が多い施設でも、管理する人件費が必要となり、無駄がある。できるだけ多様な使い方のできる施設で立地のよいもの、地域に根ざした小規模な交流館は必要と考えます。 今後は、市の職員が運営するのではなく、委託にすることで、人件費の削減につながるのではないかと思います。
公共施設は民間施設ではない。したがって、「儲からないから廃止」という短絡的な問題ではない。公共施設としての意味を見極めなければならない。その上で無駄が明瞭なものは検討が必要。
公共施設は求められる機能がありそれは変化する。建設当時（数十年前）から変化やニーズに対応できる強度や広さ間取りを持ち合わせたものでなければ、改修しても酷く使いづらいものになる。よく陥りがちな部分と考えるが、コンクリート強度や耐震性のみを長寿命化の基準とした場合に、外壁改修しエレベーターやバリアフリートイレを設置し、これで大丈夫、あと数十年使うなどという計画にすべきでなく、ニーズの変化に機能に対応できるならば改修すればよいと思う。例えば、事務所や住宅などには機能変化は少ないが、学校、交流施設、公園施設などは対応できなければ建て替えがよいと思う。 また、民間ノウハウとよく言うが、ノウハウなど特に期待できるものでなく、ただ安普請をした分をVFMなどと言い換え予算を削減しているだけで、トータルに考えればVFMなどは落札率と同じであるし、アンフォーレのエスカレーターが3階までないとか、エレベーターが小さく少ないとか、手すり丸鋼であるとか、内装が塗り仕上げであるとか、照明が埋め込みでないとか、安普請分、民間の利益になり、さらには事前調査でコンサル費など余分にお金がかかるだけということもあり、だから首長が代わり、このスキームはいかがなものかという疑問に答えることができず揉めるのだと思っている。
市民が安価で使える施設なので、むやみに減らすべきではないと思う。 一方で、利用人数が少ない施設は見直しが必要だと思う。
ありがたい大切な施設でも運営費がかかり過ぎては意味ないし、なくなると困るし、とても難しいと思います。
安城市は以前から公民館、図書館など子供を遊ばせられる施設が比較的充実していると思っています。 これからも続けて欲しい反面、経費を削れるところはあると思われるので、見直しや民間の力を借りるべきところは借りた方が効率よく運営出来ると思います。
よく似た施設は統合する。
本を借りるので、公民館はよく利用します（家族も）。家から一番近いところだけでなく、買い物等用事があって出かける方向に公民館があれば利用することもあります。 災害が起きた時にお世話になるかもしれないので、できたら減らさないほうがいいと思うし、老朽化や耐震性があやしい施設は建て替えも検討してもいいのではと思います。ただ、運営コストを減らすことができるなら減らして、例えばキッチンカーの出店など収入になりそうなことを増やしたりして利用数が極端に少ない施設（があるかどうかわからないけど）以外は残してほしいなどは思います。
我が家を含め20代から50代が公共施設を使用する頻度が少ないと思いますが、自身がリタイアした時近くに集える公民館や魅力ある図書館があって欲しいです。 矛盾しているかもしれませんが目先の利潤だけで公共施設を減らして欲しくはないです。
人口が減り市の財政が苦しくなるのが明らかであれば住民サービスは自ずと低下するのは避けられないが、若い人たちが移住したくなるサービスを提供して行くことが大事だと思います
人それぞれ必要な事はいろいろ違いがあるが、今は必要でなくてもその時が来た場合、自由に使用出来る事は公共である限り大切だと思う。

災害時の避難所として最低限数は維持した方が良くと思う
民間の物だと使用料が高かったりするので、公共のものをお値打ちに使えるのはとてもありがたいと思います。ただ、使用稼働率が低いものに関しては統廃合は必要ですね。
地域活性化には公共施設は必要不可欠。利用促進のため努力と工夫をすべきと思います。
今後人口減少が進んで行くので古くなったと言って建て替えるのではなく、減らすはないでしょうか？
あまり利用されていない施設もあると思いますが、車がない方や高齢な方などが気軽に利用できるのは公共施設ならではのと思うので、利用率だけで判断してほしくないと思います。
増やすばかりでなく本当に市民に有効活用されているか？特定の人ばかりの施設になっていないかこれからは高齢者の割合が高くなってきます。どの年齢層にもいき届くような施設運営を考えていただきたいと思います。
各世代に対してバランスよく必要な施設を残していけばいいと思う。
後世に残していくもの、いかないものを分け、住民にとって必要な公共施設をつくって頂きたい。
公共交通機関と同じで、使う人が少なく、収入があまりないからといって、無くしてしまうというのは無理があると思います。少しの利用者でも、多方面からの意見を聞いて判断してほしいと思います。
伝統や文化を残しつつ、時代にあった必要とされる要素も取り入れていって欲しいです。
公共施設は市民にとって必要性が高いものなので、目先のコストだけで再編、廃止などを考えるべきではない。日常生活の利便性や生活向上などのほか、災害時など危機対応についても考えておく必要がある。「今」必要ないから切り捨てるのではなく、せめて2、30年先の「将来」を視野に入れて、施設の在り方を考えなければいけないと思う。
最近公共施設の利用も減ってきたのですが、地域にとって必要とされている所は残して欲しいなと思います
市が直接保有・運営する公共施設は最小限にして、各町、団体、民間に委ねるべき。また広域で共用できるものは統廃合して、稼働率向上や市間の交流促進を図る方がメリットが大きい。市単位、施設ありきでなく、市民主体の施設運営が望ましい。
市民にとって使える施設はありがたいが、費用対効果を考慮して、マイナスになるものはなくすことも必要
民間の力を借りる場合は、施設の利用者の意見を聞き、方向性を明確にすべき。
若い人に喜ばれる内容（働いている人なら、多少移動距離あっても土日開いている） 老人に喜ばれる内容（近くに人がいるが早く終わってよい） と考えると市でカバー出来ないところを民間委託や他市と共同にするとかして、優先順位付けしないとお金が幾らあっても足りないと思います
公共施設がどの様に活用されているか分析して、今後の管理や公共利用に活かしていく。
安城は遊びやすい公園がたくさんあって良い、と近隣の市からも親子連れが集まってきます。今後も安城の良い特色を活かした公共施設の整備をお願いします。
出来る限り今のままで維持してもらいたいです
市民の高齢化が進む中で公共施設の存在意義も変化していくと思いますが、大事な子供たちの存在も忘れてはなりません。住み良い町は子供たちが伸び伸びと生活できることが大前提です。高齢者の行動変化をよく見極めた上で統廃合を行い、同時にこれからの世代に目を向けた施設の在り方を考えて頂きたいと思います。
趣味の交流や講座などを行う公民館のような似たような場所が多すぎると思う。コロナにより集まってやることも難しくなってきたので再編しても良いのではないかと。
料金の差はあっても良いと思いますが、誰でも利用できるような、オープンな使用環境がいいと思います。 これからの財政難を考えると、これからを支える子供達にも公共施設があると良いな一と思わせるような、施設運営がいいと思います。
民間のノウハウを取り入れたり経営コンサルをいれるなどして「経営」の目線でコストを考えるべき。杓子定規な対応ではなく、「接客」目線の「サービス」の提供を考えてもよいのでは？そのために利用料が上がったとしてもサービス向上すれば市民は納得すると思う。
公共施設は誰でも安価で利用できるのがメリットだと思うので、そういった施設の充実を望みます
市民の生活が豊かになるよう、みんなが使いやすく、充実した施設を望みますが、税金の使い道としてきちんと見合った施設になっているのか、建てっぱなしにならないよう、稼働率も含め見直して行くべきかと思っています。

民間施設には出来ないサービスを提供してほしい
無駄はできる限り省き、将来も不安なく暮らせる市にして欲しいです。
必要に応じた集約、民間委託はやむなしと思います。ただ、あまり市民に金銭的負担がかからない方法であるとともに助かります。
古いものでも、必要なものは建て替えてさらに充実して使用してもらえるようにすべき。また、立地などがよいものは売却せず、利用率が増えるように施設を改善変更して使用した方がよい。最近民間を利用すると、入札で安いものになる場合が多く、それなのに税金で補助金を出して却って無駄なことが多いので、それよりも費用がかかっても良い選択をした方がよい。安ければ良い、という時代ではなく良いものや人には十分な資金をかけるべきであると思う。そうした方が利用率も上がるし、結果的には高収入になるし、市民の満足度もあがり、さらに利用率がよくなるという好循環になると思う。
公共施設の充実、市民生活の充実に繋がります。生活が充実することによって、市民の健康、精神衛生の向上に繋がります。将来、財政の問題が出てくる可能性に対して、長期的な視野で施設の補修、選定を行なっていく必要があります。財政の試算、各公共施設の利用状況、補修予算計画など、長期的に計画し判断を行い、市民の声に耳を傾けて、対話しながら方向性を探っていくって欲しいです。
民間のノウハウをしっかりと取り入れて、無駄のない運営をする。逆に、民間移管して、営利目的だけでなく、市民のニーズや質の向上に欠かせないものの情報共有をする。協力し合えるといいですね。
税金に見合った程度の施設であるべき。
周辺自治体にあるようなものは相互利用を行うなど、各自治体、管理する施設は最小限にすべき。
田舎にこそ施設は必要です。街中には便利なものがあるから歩いて行けますから、そこは忘れないでほしいです
利用する年齢差があると思うが、小さなお子さんがいる人や、ご年配の方には必要なものもあると思う。減らすのであれば、いろいろな面から熟慮してほしい。
民間企業にはできないことは何か、を見極めてサービスを設計してほしい。
地域交流の場と非常時の避難場所を兼ねて、公共施設は残すべきだと思います。
公共施設が充実しているほうが若い世代や子育て世代が生活しやすいと思う。若い世代、子育て世代が増えればその分市の税収も増えると思うので公共施設は充実しているほうが良いと思う。
利用されているなら、維持・拡大していただきたい
公共施設は家が近かったり、使用頻度が高い人と、全く利用しない人がいると思う。あまり市民全体で意見が統一することはないと思うので、バランスのよい運営をして欲しい。ただ、いざというとき、地震や大雨などの災害の際に減災や防災や避難や指示母体等の利用ができれば、みんなのものになるという意識が高まるので良いと思う
安城市は公共施設が充実していると思います。あらゆる年齢層に利用されており、そこで人とのつながりや関わりが生まれています。公共施設は公共というだけで、大きな信頼と安心があり、どんな方も利用しやすいのではないのでしょうか。そういった施設が自宅の近隣に充実していることが安城の住みやすさに繋がっていると思います。そのため減らすことは必ずしもプラスではないと思います。財政的に今後厳しいとのことではありませんでした。しかし、公共施設に関しては、できれば今の状態を維持していただくことを希望します。
市民がどれだけその施設に対して利用価値を感じているかどうかだと思いますし、その地区ごとでもその施設がなくてはならないものならば、残すべきだと思います。世代ごとでも、必要性は違ってくると思うので、多くの市民の声を聞いて判断されることを希望します。
公共施設がたくさんあるのは魅力的だが、運営コストや老朽化による建て直し、改修する必要がある場合など、やはりお金がかかるので今後見直す必要はあると思う
安城の公共施設は色々と充実していると思う。公共施設の充実が住みやすさにもつながるのでなるべく残す、または統合してより良い施設にして市のアピールポイントにしていくと良いと思う
せっかくの施設なので、使われているかどうかは大切であるといえるが、公共サービスの面もあると思うので、利益の出るものだけを追いかけるのも違う気がする。バランスが難しいと思います。少子高齢化して施設数が今までのように必要なくなる可能性もあります。新しく建てても、アンフォーレのように駐車場が狭い、少ないなどで新しくなったのに逆に不便だと足が遠のいてしまうこともあります。
老朽化した場合には、設置目的、使用頻度等を考慮して更には最善の対応策（隣接都市との共同運営）等も取り入れ新しい運営方法へ取り組んでいったら良いと思います。

<p>民間のお金やノウハウを活用(PFI事業)して効率の良い施設運営をした方が良いと思います。例えば、神奈川県某市では給食センター建設でPFI事業を活用していました。またコンパクトシティを踏まえたアイデアとして、駅ビルに行政サービスコーナーや図書返却ポスト、福祉相談サービスなどが考えられます。個人的な意見としては名鉄新城駅や桜井駅の空いてるスペースに図書返却ポストや行政サービスコーナーがあるとうれしいです。</p>
<p>多目的に使えるようにするべき。利用率とコストが見合わないならば、他の施設と統合するなどして、経費を削減するほうが良いと思う</p>
<p>安城市民で良かったと思える場所が昔も今もあつたら嬉しいです。</p>
<p>公共施設の見直しの際は、施設の目的が民間とは異なる事を十分に考慮すべき。</p>
<p>公共施設は必要です。ただ民間と協力等してあり方を変えていかないといけないかもしれません。</p>
<p>維持費がかかるのは仕方ないが公益性があることを考えるとすぐに不要と判断することはいけないと思う。</p>
<p>アンフォーレを例に、図書館が新しくなり、本を借りる機会が増えました。安城市の図書館は他市にはない自慢の施設です。必要な施設は、コストをかけても、維持して欲しいです。年代や生活スタイルによって、必要な施設は違うと思いますが、民間と協力しながら、コスト削減だけにこだわらず、質の向上も期待したいです。</p>
<p>稼働率、老朽化など考慮して統合、廃止など検討の必要があると思います。コロナ禍で利用者のスタイルが変わってきていると思います。学生さんの学習スペースなどソーシャルディスタンスを確保して設置するなど。音楽室は防音を保ちつつ換気ができるシステムづくりなど。</p>
<p>安城市は公共施設が充実していて便利だと思うのでこれからも残して欲しい。</p>
<p>一極集中型ではなく、どこの地域すんでいても、利用しやすいものが良い。バリアフリー、エレベーターの設置、AEDの設置は必須条件である。ゆっくり過ごせる、ベンチなどもあると良い。トイレは、障害者、高齢者も利用しやすく、清潔な場所であってほしい。近未来的、斬新なデザインの建物もよいが、幅広い年齢層の人々が利用することを考えると、自然と調和したものが良いと思う。</p>
<p>地域の拠点としていかに運用できるかが要点と考える。そのための運営手法や団体などは自由度を持って考えなければならない。</p>
<p>公共に供するものは、経済性だけで判断すべきではない。長中期に対する考えを持って住民や市の活動全体への影響も考慮すべきであり、全体として得られるものが最大になるように熟慮する必要がある。上記のアンケート回答と矛盾する様に見えるかもしれないが、少数の利用者だからといって簡単には廃止することなく、知的・文化的資質等も勘案して対処して欲しい。</p>
<p>既に存在しているものを失くすことは大きな抵抗があると思うが、人口減少局面では撤退すべきところは撤退すべき。しかしながら、情報公開と住民への説明を丁寧に行い、納得してもらう努力は当然必要。</p>
<p>隣接他都市との相互利用は、よい試みだと思う。利用料金を上げるより、料金を上げないままで、たくさんの方に利用してもらえよう工夫ができればいいと思う。</p>
<p>公共施設は維持費がかかるので、似たような施設は統廃合してもよいと思うが、むやみやたらと廃止せず地域ごとに必要か否かを精査して判断してほしい。</p>
<p>施設等の運営コストカットは可能な限り行うべきだと思います。各々の主張が強いと再編は進まないと思いますが、努力義務が有りますのでお願いいたします。将来予測される市の税収減。これは安城市に限った話ではありません。公共施設の再編に着手するの一つですが、土地の活用で安定収入を得るのも良いと思います。また、そこから発展させて市内土地の宅地転用や商用許可等を迅速に行うことは出来ないのでしょうか。近隣の市では活発に行われ、開発が進んでいると聞きます。そこから、人や企業が動き、お金が動き、市の収入が増え、良いサイクルが生まれると思います。</p>
<p>安くて気軽に使えるので、とてもありがたいです。無料の講座や短期の講習なども、とっかかりによいですし、子どもの夏休みの体験としても利用しています。ただ、財政難の場合は減らされても仕方ないのかと思います。それ以外に収入源があれば、なるべく減らさないでほしいです</p>
<p>安城市の公共施設は、整備が行き届いたところが多く、気持ち良く利用できると感じています。市民の交流の場として、今の施設は申し分ないと思いますので、より少ない維持費で継続できると良いと思います。</p>
<p>公共施設は、あまり馴染みのない人にはいらぬ施設かもしれませんが、必要として利用している人は多くいてコミュニケーションの場にもなっています。どんなサービスがいいなどよりも人と人との触れ合いの場、コミュニティとしての大切な場所という位置づけなのだと思います。</p>
<p>高齢化が進んでいる中で、地域の中心となって住民が交流できる施設が必要とされている。統廃合するとき、コストや利便性だけでなく、地域づくりの視点から、住民の話をよく聞いて、判断していただきたい。</p>